

STYLART
I N C.



感じる、そして考える

アートは“だからこうしろ”とは決して言わない

ビジネスパーソンのための
感性教育研修

2025年 第1期生&第2期生

NIPPON
ART

ExARTアカデミー

Business × Art × Society

新生



従来から一步進んだりベラルアーツ研修をご紹介します!

この研修は、スキルアップのHow Toではなく、
企業人の**気づきと変化の研修**です。

何でもAIで置き換わる時代に、AIからでは受け取れないものをもらえるのがリベラルアーツです。
AIは問いを投げたら何かしらの答えをくれますが、リベラルアーツは答えを明示せず、
自分で感じて、考える楽しさを味わう機会を提供してくれます。

感じる、そして考える



見えないものを観る力

2012年に弊社が研修をスタートした時は、リベラルアーツ研修1.0の時代でした。
そこからコロナを経てオンラインが一気に普及し、次は3.0の時代に入ると感じています

そこに重要なのは「**体験価値**」。人と人が織りなす空気感やそこに行かないと味わえない雰囲気。

教養という「知識」の吸収だけであるならば、「見えないものを観る力を養う」という
リベラルアーツ本来の本質を追求したの研修としてはやや片手落ちです。
さらに「**感性**」という車輪を動かしてこそ、初めて両輪が駆動し、
これこそが感覚、身体を通した学びと考えます。

過去10年間に培ったリベラルアーツ研修経験に基づいた講師陣とコンテンツ。
特に小中学生の単純な体験学習ではない、大人の、企業人ならではの体験学習を組み込みました。
アートを推奨する弊社ならではのオリジナリティあふれる内容で自信を持ってお届けします!

座学



体験

NIPPON ART 2025プログラム 受講申し込み要項

入会金100,000円/社(税抜) ExARTアカデミーでは企業単位の参加、および会のレベル保持のために会員制にしております

対象者	経営幹部・経営幹部候補者・部課長マネージャークラス・海外事業従事者・海外駐在予定者
受講期間	年2回開講 【前期】2025年4月～9月(6ヶ月) 【後期】10月～2026年3月(6ヶ月)
受講内容	座学講座(日本美術8回+宗教仏教8回)+体験講座(和太鼓1回+デジタルアート3回+墨画1回)
受講形態	複合型(対面講義xオンデマンド配信講義xZoom講義x体験講座)
定員	各期1社あたり3名まで受講可能
受講料	1~3名受講/600,000円(税抜)・全21回

○過去10年間に弊社リベラルアーツ講座を受講された皆様からの声

感じる事が考えることと同じくらい重要であることを
黒田先生から学んだように思う。

最後の先生のコメント、
「自分にはない他人の価値観を受け入れるのがリベラルアーツ。
心を柔らかくする、心の地図を広げる」という言葉は胸に刺さった。

会社でも家庭でもない、第三の場所を
持つことができたことが大変有意義だった。
メンバーの方々とは上下関係や利害関係もなく、
本当に一人の人間として話をする事ができ、
こんなニュートラルで心地のよい場は
なかなか出会えるものではないと思う。

毎回日常では触れない新しい考えや解釈をインプットし、
宗教の講義の帰りは脳みそがぐるぐるとしていたが、
それもなかなか経験できないことなので毎回のぐるぐるが楽しかった。

1枚の絵画を見ても、人それぞれ視点や思いが異なり、
これは業務でも同じで部署によって受け取り方が異なる。
それと同じ体験ができたことがとても有意義だった。

日常生活や業務でできるだけ広い視野を持ちたいと考えていても
どうしても固定観念に囚われがちだが、
アートの世界にふれ、自身もその分野の本に手を伸ばすようになった。

柄にもなく美術館に行く楽しみを知った1年でした。
文学や写真、落語など色々なことへの興味も湧いてきて、
精神が若くなった気がしています。

宗教は非常に内容が濃かった。
日本人の根底にあるものだけでなく
西洋やイスラムの人々の根底にあるものを
理解できたことは
ビジネスだけでなく色々な視点で役に立つと思う。

顧客満足度 **98%**
受講企業リピート率 **90%**

2014-2024年のアンケート結果

10年間のリベラルアート研修実績から生まれた、

研修の為の

新生 NIPPON ART 3つのアプローチ

○その1 ▶ 企業にもアートにも求められているのは止揚的アプローチ

企業はその継続発展にイノベーションやオリジナルな発想が求められます。
しかしゼロベースから何か出てくる保証もなく、その確率も低く、そう簡単に出せるものではありません。

一方、アートにはそれを生み出す方法があります。
あるものを否定しつつも全面的に捨て去るのではなく、積極的な要素を保存し、より高い段階で活かす。
こうした考え方を哲学用語で「止揚」と言い、日本の芸術芸道においては「守破離」と呼ばれてきました。

古今東西一流の芸術家は、この「手法」「アプローチ」「考え方」「着眼点」を学び、
新しい自己と他者の化学反応によりイノベーションやオリジナルアイデアを生み出してきたわけです、

通常の企業が採用しているロジカルシンキングとは異なり、非連続的なアプローチや化学反応によって、
「革新的なアイデア」を掴み出していくためにも企業にとってアートを取り入れる必要があるのです。

○その2 ▶ 自国の文化を知ることは自分を知ること

「社会に価値を生み出す際に重要なのは、その国の文化的な特徴を活かすこと」
早稲田大学教授の広田真一氏の言葉です。

今、漫画やゲーム、和食など日本文化が海外では大人気です。
そこには、たとえ現代であっても、日本文化自体が醸し出す美意識が響いているように感じます。
この文化の形成は一夜にしてできるものではなく、いわば我々先祖の遺産であり、
重要な点はそこに「精神性や人の営み」が隠されているということです。

企業も同じです。我々が生み出すものには、それが製品であれサービスであれ、必ず精神性が滲み出ます。
むしろそれがなければオリジナリティも生まれません。
だからこそ、敢えてNIPPON ARTとしたのは、日本の文化芸術を紐解きながら、
現代に生きる私たち日本の精神性と創造の力を改めて見出していくためです。

一見バラバラに見えるかもしれないけれど、トータルで見れば1つに繋がる。
それが文化であり、その一員である自分を認識することはとても重要なのです。



○その3 ▶ この研修のゴールは、自分の感性の自覚

現代は「共感の時代」と言われます。
これには私たち一人一人の感性が今後ますます重要になっていきます。
目に見えないもの。正解のないもの。割り切れないもの。
こうしたものに立ち向かえるのは人間誰しもが持っている感性にほかなりません。

企業はロジカルだけでは回りません。
感性に訴え、共感し、共創していく社会の中でこれからの経済活動は回っていくはずで。

感性を鍛えるため使うツールがアート。
多くの人の支持を受けてきた質の高い作品や精神性を掘り下げ、
感じたことを言語化し、ディスカッションすることで、
自分自身の感受性で感覚を掴みながら、思慮のある感性を鍛えていきます。

INPUT のオンラインと OUTPUT の対面 のハイブリッド講座

リベラルアーツの中でもアートは人間の感じる力に最も端的に作用し、直感力を刺激するもの。
 普段あまり身近にはない日本の文化芸術を通して、まずは知識をオンラインでご自身でインプットしていただき、
 その後自分はどう感じるのか？どうしたいのか？それはなぜか？などの言語化を対面講座でアウトプットしていきます。
 このトレーニングにより、「問う力」と「感じる力」を鍛えていきます。

【オンデマンド配信講義】
知識のインプット



【講師とメンバーとの対面講義】
感性のアウトプット

○NIPPON ARTの5つの特徴

①

日本の美意識を
認識するための
コンテンツ

②

「知識＝インプット」と
「対話＝アウトプット」の
ハイブリッド形式

③

座学＋体験の
総合的
アプローチ

④

異業種＆少人数制での
対話重視と
講師陣との距離感

⑤

「本物・一流・希少」が
絶対基準の
コンテンツ

○おすすめの受講対象者

👤 経営幹部役員 および 幹部候補

👤 海外事業従事者

👤 海外赴任予定者

👤 部長・課長などのマネージャー層

👤 新規開発担当者

○講義内容と日程 (2025/2026)

☐ 部分は対面講座です。

			前期日程 【4月～9月】	後期日程 【10月～翌3月】	講座テーマ
和太鼓	全1回	対面講座	4月19日 (土)	10月18日 (土)	共鳴体験 - 心揺さぶる、体が喜ぶ
日本美術	第1回	対面講座	4月23日 (水)	10月22日 (水)	日本絵画の事始 正しい見方って誰が決めたの？
	第2回	オンデマンド 配信講座			マンガの原点は平安絵巻 国宝「伴大納言絵巻」 1
	第3回		マンガの原点は平安絵巻 国宝「伴大納言絵巻」 2		
	第4回		対決！ベンチャー vs 大企業 「長谷川等伯 vs 狩野永徳」 1		
	第5回		対決！ベンチャー vs 大企業 「長谷川等伯 vs 狩野永徳」 2		
	第6回	対面講座	5月21日 (水)	11月19日 (水)	名作の裏側 国宝「松林図屏風」の謎
	第7回	配信			不健全な美学 国宝「彦根屏風」 1
	第8回	対面講座	6月4日 (水)	12月3日 (水)	国宝「彦根屏風」 2 - 誰がこの屏風を描いたのか？
宗教仏教	第1回	配信			日本のルーツを知る 縄文的思考
	第2回	配信			日本のかみさま 神道概論
	第3回	対面講座	6月25日 (水)	12月17日 (水)	一緒に考えてみよう、神と仏
	第4回	配信			存在の根源・「空の思想」
	第5回	対面講座	7月9日 (水)	2026年1月7日 (水)	もう一度、一緒に考えてみよう、「空の思想」
	第6回	配信			キリスト教と資本主義
	第7回	配信			イスラム教と世界情勢
	第8回	対面講座	7月30日 (水)	2026年1月28日 (水)	最後に一緒に体験してみよう 「瞑想とマインドフルネス」
デジタルアート	第1回	Zoom講座	8月20日 (水)	2026年2月18日 (水)	今すぐ描ける！世界で一番美しい線
	第2回	Zoom講座	8月27日 (水)	2026年2月25日 (水)	好きな漢字 1 文字を絵にしてみる
	第3回	対面講座	9月10日 (水)	2026年3月11日 (水)	作品を飾り、身近な人に見せてみよう
墨画	全1回	対面講座	9月24日 (水)	2026年3月25日 (水)	自円 - 自分だけの円を描く

※日程、プログラムの内容は変更になることがあります。詳細は随時ご連絡いたします。

日本文化にフォーカスした、五感を鍛える5つの講座

メイン講座

日本美術講座

知っておくべき日本美術

配信講座5回+対面講座3回@九段下

講師 **黒田 泰三 氏**

明治神宮ミュージアム館長
元 出光美術館 学芸部長



1954年福岡生れ。九州大学文学部卒業。博士(文学)。専門は日本近世絵画史。京都芸術大学客員教授。女子美術大学、東京藝術大学などで講師も務める。2008年第6回徳川賞(徳川記念財団主催)を受賞。著書に「もっと知りたい長谷川等伯」「思いつき味わいつくす伴大納言絵巻」「狩野光信の時代」など。2015年には「思いつけない日本美術史」を新書として出版。

ここでは美術史を学ぶわけではありません。現代を生きる我々と同じように悩み、働き、生きた画家たちが残してくれた作品を学術的に紐解きながら、彼らからのメッセージは何か?を探っていきます。国宝の名画をベースに、個々の「想像力」をトレーニングしていくミステリーツアーのような内容です。

宗教仏教講座

知っておくべき日本と世界の宗教

配信講座5回+対面講座3回@九段下

講師 **牧野 宗永 氏**

宗教家・仏教文化コミュニケーター



故梶山雄一先生から中観思想を、小野田俊蔵先生からチベット語、森山清徹先生から瑜伽行中観派の思想を学ぶ。ネパールのカトマンズへ留学し、故ケツン・サンボ・リンポチェに師事。そのほか、チベット仏教ニマ派の高僧たちから多くの貴重な伝授、灌頂を授かり、約8年間チベット仏教僧院に滞在。帰国後、チベット仏教や日本仏教の観智を伝える「仏教文化コミュニケーター」として活動。

宗教を客観的に学ぶことと信仰することは全く別物です。それは他者が大切にしていることを正しく理解するための“共感”の第一歩であり、多様性の基礎となります。同時に日本古来の風習や言伝え、文化が自分の判断基準や倫理観にどのように影響しているのか、さらに多神教と一神教の違いなどを学んでいきます。

体験講座

和太鼓

心揺さぶる、体が喜ぶ

対面講座1回@南青山

講師 **TAIKO-LAB**

プロ和太鼓奏者集団



世界最大級の和太鼓教室として講師が全てプロの和太鼓奏者であり、国内外での公演活動と共に、TVやメディアへの出演も多い。2022年JFAサッカー天皇杯決勝@国立競技場、2023&24年春の大祭/郷土芸能奉納@明治神宮など。



縄文時代から存在したという太鼓。海外にもあるのになぜ和太鼓というのか?そうした歴史も踏まえ、身体全部を使って音を出すという行為と、他の音に合わせながら1つのリズムをみんなで作るという行為を体験していただきます。半年間の講義のキックオフとして最初に体験していただく講義です。

デジタルアート

あなただけの、世界一美しい1本の線を描く

Zoom2回 + 対面講座@九段下

講師 **TAKUROMAN 氏**

デジタルポップアーティスト



子どもの頃からの夢を忘れられず、35歳で一発発起し会社を離れ漫画学校へ、「人体クッキー」の著者、高桑真恵氏から直接線画技法を学ぶ。2021年よりアーティスト活動を開始。NFTアート市場での作品発表や個展、アートライブの他、NYの世界最大級のNFTイベントNFTNYC2023でNFTアートのスピーチを行うなど精力的に活動中。



子どもが簡単にデジタルアートを楽しむのは一般的になりましたが、実は我々大人の普及率は決して高くはありません。デジタルでの自己表現はどうするのか?手を動かすことで自分が見えてくるアート創作と、すぐ消せるデジタルの利点を活かした、アートに苦手意識のある方ほどぜひ楽しんでいただきたい画期的な講義です。

墨画

自円—自分だけの円を描く

広尾にて対面

講師 **塩川 もと子 氏**

インクアーティスト/書道家



5歳より書塾に通う。書道教師師範免許取得。映画のタイトルやパッケージ、店舗ロゴ等、筆文字作家としても活躍。インクアートでは、ロンドン、N.Y.、デンマーク、オーストラリア、スペイン等、国内外で個展多数開催。近年では国内を中心に個展を開催。デンマーク元副首相と交流し、コレクターにもなっている。



4つの講義の集大成として最後に体験していただくのが「墨との時間」です。墨を摺るのは小学校以来という方も多いかもしれませんが、心を落ち着かせ、ご自身と対峙していただきます。ここでは字を書く習字ではなく、誰もが描ける円を描きながら、自身を言葉を使わず表現することにトライしてみます。

○お申込み方法

STEP1 まず、弊社事務局までメールにてご連絡ください。 exart-academy@stylart.co.jp
企業名・部署名・役職・ご担当者名・メールアドレス・電話番号をご記載の上、お送りください。

STEP2 弊社事務局より折り返しご連絡させていただきます。

STEP3 弊社WEBサイトページ内の申込みサイトよりエクセルシートをダウンロードし
受講者をご記載の上、ご返信ください。
詳細についてはSTEP2で事務局よりご案内させていただきます

<http://www.stylart.co.jp>

○講義形態&時間

- 講義@都内会場 水曜日 19:30~21:30
- オンデマンド配信講義
- Zoomによるオンライン講義 19:30~21:30
- 体験講義@都内会場 各講座 90分間

○キャンセルについて

お申し込み後、受講者の都合にてキャンセルされる場合、
下記の通りキャンセル料を申し受けますのでご了承ください。
尚、キャンセルのお申し入れは必ずメールにてご連絡ください。

開講日30日前~21日前まで : 受講料の30%
開講日20日前~14日前まで : 受講料の50%
開講日13日前~講義当日まで : 受講料の全額

参加費の振込のないことをもって
キャンセルとはみなしません。

○受講料のお支払いについて

お申し込み責任者の方へ請求書をお送りいたします。
記載の支払い期日までに指定口座へお振込ください。
(お振込手数料は貴社にてご負担くださいますようお願いいたします)

○その他

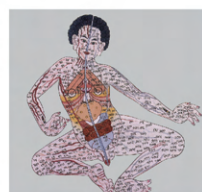
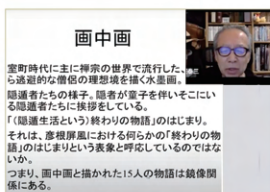
- 年会費は発生しません。
- プログラムの内容や教材、配布資料などの無断転用及び複製は禁じます。
- 受講生以外の方には、テキストや配布資料はお分けできません。
- 講義の録音・録画・写真撮影は一切禁じます。尚、記録用に弊社にてビデオ録画・写真撮影を行う場合がございます。

○個人情報のお取り扱いについて

株式会社スタイラートでは、個人情報の保護に努めております。詳細は弊社HPのプライバシーポリシーをご覧ください。ご提供いただきましたお客様の個人情報は、本会のプログラムに関する連絡、その他弊社の提供するサービスの商品のご案内送付などに使用させていただきます。

○お問い合わせ

株式会社スタイラート ExARTアカデミー NIPPON ART事務局
E-mail : exart-academy@stylart.co.jp



ExARTアカデミーの
出張型研修



究極のアート思考を
“体感”して学ぶ
自円(ZIEN)プログラム

禅の世界で悟りの形象・心性の完全円満を表す○。
この円を僧侶が描いた「円相」は禅画として名品逸品が数多く残されています。
墨で丸を描くだけなのに大変難しく、描く人の心が表現されると言われます。

哲学的な仏教、中でも思考性の強い禅宗が、
視覚的・体感的に表現したこの円相こそ、
究極の「アート思考」であると我々は考えました。

墨をする瞬間から始まるアート体験と、
一流講師陣による美術宗教の講義で刺激される脳内思考、
そしてそれをアウトプットする哲学対話。

3つのステップから組まれた
最低3.5時間のオーダーメイド研修です。

